

# 令和6年度第1回ひたちなか市障害者自立支援協議会次第

日時：令和6年7月24日（水）

午前10時

場所：基幹相談支援センター研修室

## 1 開 会

会長あいさつ

新任委員の紹介

## 2 議 事

議事第1号 障害福祉施策について  
（1）障害福祉の現況  
（2）基幹相談支援センターの活動について

議事第2号 相談支援部会の活動について

議事第3号 防災専門部会の活動について

議事第4号 子ども部会の活動について

## 3 その他

## 4 閉 会

議事第1号 障害福祉施策について

(1) 障害福祉の現況

1. 障害者手帳等交付状況

①身体障害者手帳交付数

年度	区分	視覚	聴覚・ 平衡	音声・言語 ・そしゃく	肢体	内部	計
R3	児	3	29	1	73	16	122
	者	267	360	37	1,773	1,616	4,053
	計	270	389	38	1,846	1,632	4,175
R4	児	3	25	0	74	17	119
	者	272	358	42	1,785	1,626	4,083
	計	275	383	42	1,859	1,643	4,202
R5	児	3	22	0	73	15	113
	者	275	351	37	1,723	1,622	4,008
	計	278	373	37	1,796	1,637	4,121

②療育手帳交付数

年度	区分	○A	A	B	C	計
R3	児	56	49	73	142	320
	者	232	223	262	253	970
	計	288	272	335	395	1,290
R4	児	56	50	75	154	335
	者	240	227	272	260	999
	計	296	277	347	414	1,334
R5	児	50	55	82	164	351
	者	244	230	270	269	1,013
	計	294	285	352	433	1,364

③精神障害者保健福祉手帳交付数

年度	等級	1 級	2 級	3 級	計
	R3		83	625	444
R4		77	670	459	1,206
R5		80	751	491	1,322

④自立支援医療（精神通院）受給者数

年度	人数
R3	2,654
R4	2,694
R5	2,787

## 2. 令和6年度新規事業

### ○障害者支援アプリの導入

#### 【経緯】

情報提供の充実は、障害者プランにおいても施策課題となっており、障害者が必要とするサービスや事業所の情報を身近な媒体でわかりやすく伝えることが求められている。

障害の種類や等級によって使える制度が異なるため、自分に合ったサービスを見つけることが困難な現状がある。また、施設の空き情報や特色などを把握する手段が不足している。

<第3期障害者プラン（2019～2026）アンケート調査より >

- ・地域で生活するために重要な取組みは何か？→「相談窓口や情報提供の充実」32.9%
- ・災害時に必要な支援は何か？→「いろいろな情報があること」46.2%
- ・どのようなサービスがあるか知っていたか？→「わからなかった」11.7%
- ・どの事業所を利用すればよいか知っていたか？→「わからなかった」10.7%

[導入事例：港区，茅ヶ崎市，飛騨市，江戸川区，那須塩原市]

主な機能：制度情報（障害別・等級別検索機能あり）、事業所情報（地図、空き情報検索機）、ミライロID（デジタル障害者手帳）、ヘルプカード、お知らせ配信、問合せ受付など

◎令和6年12月にリリース予定（県内初）



## 議事第1号 障害福祉施策について

### (2) 基幹相談支援センターの活動について

#### 1. 相談支援事業所連絡会 毎月開催

##### 【主なテーマ】

- ・電子連絡帳について
- ・子ども部新体制について
- ・発達障害者センター 野口様 発達障害者の最近の状況
- ・学童保育について 青少年課
- ・成年後見中核機関（社協）の役割
- ・社会福祉法人清香会あゆみ園 猪股様 子どもの発達支援について
- ・子ども部会について 等

#### 2. 事例検討会 2回 (児童)

#### 3. ケース検討会議 4回 (児童)

#### 4. 研修会 4回

①障害福祉サービス支援者研修会（新人向け）	9/29	ワークプラザ	58名
〃	1/25	〃	46名
②障害福祉サービス基礎研修	2/28	基幹研修室	8名
〃	3/7	〃	17名

#### 5. 権利擁護学習会「成年後見制度講演会」 11/30 しあわせプラザ 74名

#### 6. 相談

障害者	精神	19名	障害児	未就学児	5名
	身体	2名		小学生	5名
	知的	3名		中学生	1名
	視覚	1名		高校生	2名
		<u>25名</u>			<u>13名</u>

（こころの医療センター・茨城東病院・訪問看護事業所・水戸市基幹相談支援センター  
県発達障害者センター・愛知県緑区基幹相談支援センター・埼玉県相談支援事業所  
市内相談支援事業所 水戸市相談支援事業所等）

#### 7. その他

- ・相談支援部会、子ども部会の参加
- ・自立支援協議会の参加
- ・笠間市基幹相談支援センター 視察・意見交換
- ・水戸市基幹相談支援センター 視察・意見交換
- ・相談支援専門員初任者研修受け入れ、現任研修受け入れ



## 議事第2号

### ひたちなか市自立支援協議会相談支援部会の活動について

#### 1. 令和6年度 相談支援部会実施報告

第1回部会 令和6年4月18日

第2回部会 令和6年6月20日

#### 2. 令和6年度の活動について

(1) 地域支援拠点の整備【障害福祉計画重点施策】

(2) 相談支援体制の充実・強化

##### (1) 地域生活支援拠点の整備について

###### 【必要な機能】

- ①相談 ②緊急時の受け入れ・対応 ③体験の機会・場
- ④専門的人材の確保・養成 ⑤地域の体制づくり
- ・基幹相談支援センターを設置したことによって、①④⑤については実施できている。
- ・今年度は②③についての具体的な話し合いをすすめ検討していく。

##### (2) 相談支援体制の充実・強化

- ・ひたちなか市には、基幹相談支援センター・障害児者相談支援センター・計画相談支援事業所の3層の相談体制がある。
- ・ひたちなか市障害福祉課含め相互連携、及び必要な情報の共有等、たらいまわしにならない相談体制の充実・強化についての話し合いをすすめていく。
- ・また、基幹相談支援センターの4つの機能（①総合的・専門的相談支援、②情報の集約及び特定相談支援事業所等への情報提供、③研修事業、④地域の体制づくり）等が上手く機能しているか、または機能するには何が必要かなど継続して検討していく。

## 議事第3号

### ひたちなか市自立支援協議会防災専門部会の活動について

#### 1. 令和5年度活動報告

- ・主な構成員は「ひたちなか・那珂・大洗・東海地域福祉関係団体連絡協議会」（以下「連絡協議会」という）であり、12団体で活動。
- ・災害時における協定福祉避難所の設置運営や防災専門部会のあり方に関することを中心に、市の関係部局や事業所間での協議を計4回実施。
- ・市の防災訓練へ参加し、実践的な取り組みを行った他、協定福祉避難所の周知を目的として研修会を企画した。

#### 2. 令和6年度活動報告

##### (1) 第1回防災専門部会

日時：令和6年5月30日（木） 10時00分から11時20分まで

会場：基幹相談支援センター研修室

参加者：20名（部会員、市障害福祉課、生活安全課、地域福祉課）

##### ①今年度の防災部会体制について

昨年度に挙げた今後の防災に関する意見徴収の幅を広げるため、連絡協議会以外の部会員を増やしていくなどの課題に向けて、副部長をおくことになった。

部会長：有阪 加奈子（はまぎくの会）

副部長：小山 清美（こもれび）

##### ②令和6年度防災訓練について

今年度より、協議会会員及び協定福祉避難所が1事業所追加（「ひたちなか市社会福祉協議会」）の手続きをすすめ、市内7事業所で実施予定。

##### ③今後の取組み

\*参照（4. 今後の取組み）

#### 3. 令和6年度防災訓練について

第1回防災部会においては、協定福祉避難所として市内7か所で実施予定だったが、ひたちなか市社会福祉協議会を除く市内6事業所で実施予定に変更する。

（ひたちなか市社会福祉協議会は、指定福祉避難所としての役割を担っているため）

通信訓練における連絡手段の方法が課題であり、今回は「ひたちなか市電子連絡帳」を試行的に活用することとなった。

また、物資受取訓練では、事前に決められた避難所ではなく、当日に指定された避難所とのやりとりを行う点が昨年と異なり、より実践的な訓練となるよう検討している。

- ・実施日：令和6年8月31日（土）9：00～正午
- ・場所：各協定福祉避難所
- ・訓練内容：「ひたちなか市電子連絡帳」を利用した開設後の通信訓練（開設後3日経過を想定）、訓練当日に指定された避難所への物資等の受取訓練
- ・参加者：協定福祉避難所6事業所、市地域福祉課、障害福祉課ほか
- ・その他：訓練の詳細については、第2回防災専門部会（8月7日）に確認する

#### 4. 今後の取組み

##### ・研修会開催（12月予定）

市内の知的・精神障がいの事業所に協定福祉避難所の存在及び活動を知ってもらうこと、平常時より横のつながりを意識した研修会の実施を検討していく。

##### ・防災専門部会の構成員の検討

現在、防災専門部会は、連絡協議会の会員のみで構成されているが、幅広い意見の集約を図るために部会の構成員の検討を図っていく。

##### ・協定福祉避難所を増やすための仕組みづくりの検討

現在は、市と連絡協議会の間で「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結しており、協定福祉避難所を増やすためには、連絡協議会以外の事業所が登録できる方法について検討する必要がある。

##### ・通所せず地域で生活している障害のある方を災害時に孤立させない仕組みづくりの検討

平常時より、災害時の事前の備えや情報を得る方法についてお知らせできるよう、地域と連携できる仕組みを検討していく。

#### 5. その他（第1回防災部会より意見等）

- 災害時に施設の安全を確認し、避難所の開設や物資の不足の連絡のために備品の数を確認する時間をもったいないので、先に最大収容人数分のセットをもらっておいて、不足が生じた場合はやり取りをする方がスムーズだと思う。余震等で時間帯によって職員が何名いるかも分からない状況とすれば、一つでも工程を減らせるほうが良い。ある程度まとまっていた物資をいつでも取りに行ける流れの方が速やかに対応できると思う。やることが減らされれば協定福祉避難所としても数が増やしやすくなると思う。

→ベースとしてその考え方は良いと思う。災害の規模によるが、必要な数がどれだけ準備できるかはその時にならないと分からないため、検討させていただきたい。

→セット化した所定数の物資を優先的に確保し、取り決めておいた避難所に置いておけるか、一昨年「拠点防災倉庫」を運営しており、物資を保管している。



優先的と考えた時に、現実的にある程度は可能と考える。また、施設の置くスペースの有無等の問題もあるので、関係課で調整していきたい。

- 実際の災害時のために、分からないことを少なくしておくことが大事である。物資を含めて、事前に把握しておくことで連絡を減らすことができる。ご自宅にいる方についても、日頃の自宅での備えをご家族にアナウンスすることで避難する人を減らすことも大事ではないか。
- 通所せず地域で生活している障害のある方を災害時に孤立させない仕組みづくりの検討について有難いと思う。
- 会員同士の情報共有できる仕組みづくりをしていきたい。また、協定福祉避難所に身体の方も含めると良いのでは。  
→身体の方については、市の福祉避難所への避難方法を案内している。
- 昨年度の訓練で、市の方がビブスを着用していたので、協定福祉避難所として取りに行く方もビブスを着用するなど互いに認識できるようにすると良い。
- 福祉避難所になっていない施設に地域の方が大勢避難していた状況を経験しており、そこには物資等の優先性があるのか。  
→指定避難所が優先となる。避難所から本部に連絡をもらい物資班が運ぶことが基本となるが、最寄りの避難所に相談するなどして対応していただくのが実際のところだと考える。
- 自主避難している施設も避難所と同様に支援できるシステムがあるといいのではないか。  
→公助にも限界がある中で、共助というところで地域と話し合い連携していただくことで災害に強い地域づくりにも繋がると思う。  
→市の備蓄状況について、改めて確認をした上で皆様に周知したいと考えている。



## 議事第4号

### ひたちなか市自立支援協議会子ども部会の活動について

#### 1、現状報告（R6年4月 子ども部会設立）

##### （1）参加法人

法人名（順不同）	法人名（順不同）
NPO法人生活支援ネットワークこもれび	合同会社ピースサイン
株式会社はぴ・ねす	株式会社MKヴィジョン
合同会社OULA	株式会社渋谷ローヤルマネジメント
有限会社こすもす	合同会社吉村
株式会社AtoC	株式会社さくらんぼ
株式会社ブックエース	一般社団法人希望の芽
合同会社Smile	社会福祉法人愛友会
社会福祉法人博友会	株式会社サトウエージェンシー
株式会社エイト	合同会社あしたば
株式会社フレーズ	有限会社えくぼ

##### 欠席法人

法人名（順不同）
一般社団法人スマイルライフ
一般社団法人ひいらぎ

##### （2）新規加盟

###### 7月から参加法人

法人名（順不同）
社会福祉法人清心福祉会
株式会社サンクチュアリ

##### （3）第一回目会議内容（4月24日）

- ① 部会長・副部会長の選任
- ② 各事業所の紹介
- ③ 子ども部会についての概要説明（発足理由・今後の活動予定内容報告）
- ④ 子ども部会名簿作成について、連絡先・メールアドレス等の共有（Google フォーマット）
- ⑤ ひたちなか市自立支援協議会での報告・報告・提案内容の確認
- ⑥ 参加事業所の情報共有案の確認（各事業所紹介で使用する小冊子について）

※小冊子について別途説明

(4) 第二回目会議 (7月3日)

①前回会議時の小冊子について回答

②児童発達支援センターについて

ひたちなか市のR8年児童発達支援センター設立目標(第3期障害児福祉計画)に対して、子ども部会として、【現状の把握・概要の説明】を実施。

(5) ※今後の予定

9月4日に障害福祉課より【市内の現状と各機関の役割等】について説明を受ける予定。

その後、10月9日の会議で各事業所からの意見をまとめて、年度末の協議会で報告できるようにしていきます。